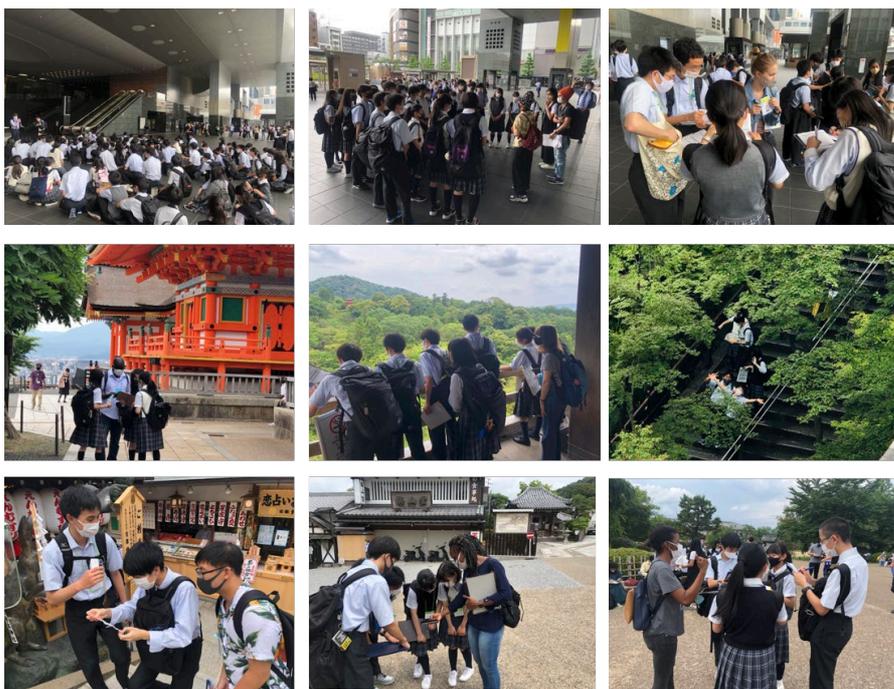


6月22日（火）京都フィールドワークに行ってきました。

緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に切り替わり、生徒たち待望の京都フィールドワークが実施できました。梅雨の合間をぬって、曇り空で暑すぎずちょうど良いコンディションの中、生徒たちは久しぶりのフィールドワークを大いに楽しみました。さて、今回のミッションは以下の3つでした。

1. 5人の班で京都を巡り、日本の文化に触れ、協力して課題をこなすことによりチームカアップを図る。
2. 「おもてなし」「もったいない」「しあわせ」のテーマに関するものを探し、画像に収め、キャッチフレーズを考える。班で撮ったスナップ写真をコンテストにエントリーする。
3. 班に1名同行する留学生とともに巡りながら、英語による異文化コミュニケーションを図る。



あとがき

5月から延期され、ようやく実施できたフィールドワーク。京都という日本の伝統文化を肌で感じながら、よく歩き、たくさん話し、必死に英単語をつなげながら巡った1日。

円山公園で解散した後も留学生や友達と笑顔で写真を撮ったり、話し込んだりして、なかなか帰路につこうとしない様子から、子どもたちに大きなインパクトを与えた1日だったように感じました。

クラスから1班を選び、さらに中から「学年ベストフォト」を選出しました。

A-6班

5人の空中浮遊体験は見事に浮遊しタイミングはバッチリ！
笑顔なのか、苦しさから引き攣っているのかわかりませんが
とにかく楽しそうです！

ところで何回チャレンジしたのでしょうか？

→ベストフォトに決定！

躍動感、一体感、楽しさ、苦勞 からA6班に決定です！
何回撮り直したのでしょうか？見事にタイミングがバッチリ。
生徒の表情がその苦勞を物語っています。



B-4班

全員が大きく両手を広げるポーズが楽しさを表現していますが、何を意味しているのでしょうか？

ま、とにかく楽しそうです。

中でも留学生が一番ノリノリなのはササガです。



C-2班

楽しさの表現を、ありきたりのピースサインではなく、両手の平を大きく開き、顔の前に配置させるところがとても新鮮でした。

男子も女子も可愛さ満点です！



みなさん、お疲れ様でした。

第2回フォトコンテストは真庭研修でも実施します。写真の技術と「笑顔」に磨きをかけておいてくださいね！